

(1) 金剛地区再生指針の進捗について (令和5年度)

（取組の視点・項目）

1 地域の連携による「サービス」と「支え合い」の展開

暮らしの安心を支える、生活サービス充実、「居場所」「活動」「交流」づくり

進捗（取り組んできたこと等）

赤字下線・・・新規

- 地域活動・交流拠点となる「わっくcafé」の運営
- 地域住民による「居場所づくり」（カフェ&ランチロペ、寺池公園パラソルカフェ、福祉委員会によるサロン等）
- 寺池公園プレーパーク実施（木登り、ターザンロープ等）

2 多様な「住まい」の供給・流通の促進

改修や建替、流通促進、住宅市場活性化等

- 空き家バンク登録制度（契約が成立した場合、所有者、居住希望者に対し、補助金を交付 など）
- 魅力的なりノバージョン住戸の供給、「U35割」「子育て割」等、若年層の入居促進を実施（UR）

3 豊かで多機能な「空間・施設」の充実

多機能な生活拠点づくり、空家・空店舗等の活用、広場や通りの再生等

- 空施設の活用（∞KON ROOM、わっくCafé等）
- 寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草）
- 「金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画」の策定

4 まちを運営する「仕組み」の構築

住民等主体によるまちの運営、運営組織の設置、活動場所の創出、イベント等の開催

- 「金剛地区まちづくり会議」による活動推進
- 金剛マルシェ、金剛バル等のイベント開催
- 大阪大谷大学、阪南大学、UR都市機構、市の4者により、KONGO Living Lab Project (KLLP) 始動。